

毎月19日は、「かがわ育児の日」



県を含む官民67団体で構成する「かがわ子育て支援県民会議」では、毎月19日を「かがわ育児の日」（育＝い（1）く（9）児の日）として提唱。育児の日を普及させ、安心して子どもを生み育てることができ環境づくりを進めています。

かがわ子育て支援県民会議会員の取組みレポート Vol.6

さぬきおやじ連合

日時 令和3年11月14日（日）10：00～15：00
場所 栗林公園内 檜御殿跡

さぬきおやじ連合は、基本的に小学校の学区単位で結成されたおやじの会の集合体として発足しました。会士士の横の繋がりを強め、情報交換やイベントの成功事例を共有するなどして、それぞれのおやじの会がもっと盛り上がり、より多くの子どもたちに楽しい体験や学びの場を提供できるようにすることを目的に、20年前から活動しています。

その中で今回取材したのは、栗林おやじ塾が実施した「栗林オータムフェスティバル2021」です。栗林オータムフェスティバルは、8年前から実施しており、毎年500人程度が参加します。今回のフェスティバルは、子どもたちによる発表会の場や楽しく体験ができるあそびブースなどがあり、来場したすべての方が楽しめるイベントでした。



ステージでは、小学生から大学生までさまざまな年代の子どもたちが合唱やダンスなどを披露していました。午前最後のステージは、出演者みんなで、「真赤な秋」の大合唱。栗林公園のきれいな景色をバックにした圧巻のステージでした。

さぬきおやじ連合の早谷川さんは、「今年は、特に新型コロナウイルス感染症の影響で、子どもたちの発表の場がなくなっており、このイベントがそのような場になったらいいという思いも込めて実施している。」とお話してくださいました。



その他、わなげやスーパーボウル、わくわく工作コーナーなど様々なあそびブースがありました。子どもたちは、自分で工作したかざぐるまや自分でとったヨーヨーなどで楽しそうに遊んでいました。満足そうに親や友達に自慢する姿はとても微笑ましかったです。また、子どもたちのなかには、あそびブースの運営を手伝っている子もおり、運営側でイベントに関わることで普段経験できないことを体験できるいい機会になったのではないのでしょうか。

この他にも、さぬきおやじ連合では、色々なイベントの開催や居場所づくりなど、子どもや保護者が楽しく過ごせるような取り組みを実施しています。今後の活動もお楽しみに(^ ^)